

平成18年度大阪医科大学医師会評議員会・総会議事録

平成18年5月15日 午後4時—5時 於 第一会議室

出席者	医師会会長	河野公一	(評議員会・総会)
	副会長	米田博	(評議員会・総会)
		富士原彰	(評議員会・総会)
	理事	佐野浩一	(評議員会・総会)
		田中英高	(評議員会・総会)
	評議員	石原正	(評議員会・総会)
		杉野正一	(評議員会・総会)
		平松昌子	(評議員会・総会)
		竹中洋	(評議員会・総会)
		亀谷英輝	(評議員会・総会)
		上杉康夫	(評議員会・総会)
		土手友太郎	(評議員会・総会)
	監事	出口寛文	(評議員会・総会)
	会計	臼田寛	(評議員会・総会)
	会員	住吉一浩	(総会)
		中野隆史	(総会)
		谷川允彦	(総会)
		池田恒彦	(総会)

評議員会	出席	12名	委任状提出	7名
総会	出席	17名	委任状提出	189名

平成 17 年度事業報告(河野会長)

会員数

- 医師会充実へ向けての会員数増加の報告入会者 75 名、退会者 51 名、純増数 24 名、平成 17 年度現在 399 名

地域活動

- 病診連携、診診連携への寄与努力

広報活動

- 大阪医科大学医師会会報(年 2 回)を発行した。

学術活動

- 平成 17 年度中の学術会議の開催実績報告
北摂四医師会医学会記録集(年 1 回)を発行した。
北摂四医師会では既存の 8 つの分科会に加え 17 年度に新たに肺疾患フォーラムを発足させた。

平成 18 年度事業計画(河野会長)

会員数

- 医師会会員数の増加に向けては現在までも鋭意努力を続けているが、今後も引き続き医師会充実のために会員数増加に務める。
会員数を増加させるためには医師会費を減額する必要がある。現在の会費は高すぎる(池田会員)。
会費は日本医師会、大阪府医師会によって設定されており変更は難しい(米田副会長)。

学術活動

- 平成 18 年度中の学術会議の開催予定報告、北摂四医師会の活動報告、記録集の発行、各研究会の活動予定、富士原彰副会長が新設する肺疾患フォーラムの紹介、共同開催する産業医講習会の紹介など。
- 今後の北摂四医師会学術集会開催予告。6 月 17 日(土)医学会総会、8 月 26 日(土)全人医療研究会、11 月 19 日(土)日本プライマリケア学会、日本医師会認定産業医講習会もあわせて行なう。

在阪 5 大学医師会と大阪府医師会との懇談会で議題とされた件に関して(河野会長)

- 医師会として勤務医の過重労働に関する調査を行なう。
過重労働になっている実態は認めざるをえない。特に当直明けの勤務や午後 5 時以降の会議が問題と考えられる。病院での調査実施に関しては法人との調整等が必要、前向きに検討する(竹中評議員)。
- 医師会として女性医師の就業環境の向上に務める
学内託児所は研修医の使用が認められていない。ニーズに見合った年齢層の女性医師に開放されるよう制度を見直すべきである。託児所の利用は 3 歳児までに制限されているのでこれを就学時まで延長してほしい。(池田会員、玉井会員)。
現状では女性医師側から医師会に対して目立った要求はない(平松評議員)。

25 周年記念事業(河野会長)

- 医師会の繰越金が 5000 万円近い額に上っており、外部監査で 3000 万円まで減らすよう指示されている。来年度(平成 19 年度)に大阪医科大学医師会は創立 25 周年を迎える。また同時に大阪医科大学創立 80 周年でもある。この節目を記念した事業を行ない、数年で繰越金を消費することを目指す。
- 事業内容は稼働率が低いと思われる図書館 2 階のビデオコーナーを改修して医師会生涯学習コーナーを開設して地域医師会へ開放する。
- 新講義実習棟スキルスラボの充実
- 仁泉会奨励賞に代わる医師会奨励賞(医師会に貢献した若手医師の表彰制度)の設置
- 病診連携の場面を中心とした医療ワークショップの開催。
- ホームページの更新、改変
- 任意団体から法人組織への改組の必要は無いのか(佐野理事)。
現状では検討していない(河野会長)

医師会費未納者の取扱い(河野会長)

- 未納金が 400 万円近くに上っており、医師会での肩代わりが限界に近づいている。
- 給料天引きを徹底する。
- 今回限りをもって未納者は退会してもらう方針とする。
会則の変更が必要となる場合もあるので事務局で検討する。
連絡は各医局の責任者に一任する。

平成 17 年度会計報告(別紙)

(臼田会計、出口監事)

承認

平成 18 年度予算案(別紙)

(臼田会計、出口監事)

承認

以上